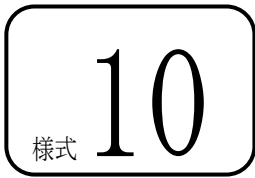


最短修業年限超過者等に係る事由書

(別途、[様式10-2] 教員所見も添付すること)



注1. 前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況で記入すること。

注2. 特に慎重な審査を要する場合は、追加資料等を求めることがあります。

年 月 日

学部・研究科名	課 程	学科・専攻名	学年	入(進)学年	学生番号	
学 部	学部			西暦	氏名	
研究科	修士			年		
学 舎	博士			月		
教育部	専門職					

1. 病気の場合 ※診断書などで証明できるものに限ります。

※医師の診断書等(病気期間の記載があるもの)の提出が必須。様式10-1①にホッチキスで添付してください。

〈病 名〉 _____

〈期 間〉 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

〈休学期間〉 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

〈病状について〉

2. 留学の場合

〈留学先(国名)〉 _____

〈大学名(機関名)〉 _____

〈留学期間〉 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

〈休学期間〉 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

〈留学種別〉 (該当する番号を○で囲んでください)

① 国 費(日本政府奨学金 ※日本学生支援機構含む) ② 大学の交換プログラム等 ③ 私 費

④ 公共団体等からの助成 (団体名) _____

3. 大学院の博士學位論文作成の場合 ※ 修業年限超過の期間が1年を超える場合は免除の対象としません。

《研究題目》

(進捗状況の概略)

最短修業年限超過者等に係る事由書

(別途、〔様式10-2〕教員所見も添付すること)

様式

10

学部・研究科名	課程	学科・専攻名	学年	入(進)学年	学生番号	
学部 研究科 学舎 教育部	学部 修士 博士 専門職			西暦 年 月	氏名	

4. その他の場合 (4-1~4-4まで記入必須)

4-1. 以下、該当する箇所にチェックしてください。

- (1) 出産・育児・介護
- (2) 国等の要請に応じて休学し、公益事業(青年海外協力隊、兵役等)に参加 ※1)

※1) インターシップの場合は、①機関②期間③研究との関連④業務内容等も含めて必ず記入してください。

- (3) 学資獲得のためのアルバイト苦による場合(留学生を除く) ※2)

※2) アルバイト(留学生は除く)の場合は、①経済的必要性②アルバイト状況(いつから週〇時間勤務等)も含めて必ず記入してください。

該当期間分の根拠書類(源泉徴収票や課税証明書、TA/RA/OAは総労働時間数がわかる書類)を様式10-1②にホッチキスで添付してください。

- (4) 申請者本人が障害者であるため学業・研究において修業年限以上の期間を要すると認められる場合
- (5) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと認められる場合 ※3)

※3) (免除の対象とならない事例)

- ・就職活動を満足に行うことができなかったに伴う就職待機 等

(免除の対象となりうる事例)

- ・研究に必要な海外でのフィールドワークを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により渡航することができなかった
- ・入国制限により日本に入国することができなかったため、休学した 等

4-2. 理由の詳細を記入してください。

★特に※1~3)に該当する方は、具体的に記入してください。

期間や経緯、程度など記載内容が不十分であれば、こちらから問い合わせることがあります。

4-3. 期間を記入してください。

〈休学期間〉 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

〈該当期間〉 ① 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

② 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

4-4. 時系列・理由を記入してください。

年度	在籍年数	時系列 (例: 兵役・育児等) ※それ以外は在学と記入		最短超過にかかわる理由
		前期 (4月~)	後期 (10月~)	
(例) 2020年度	1年目	在学	アルバイト	父が失業し、仕送りが停止した。10月より学資工面のためアルバイトを週30時間行った。
年度	1年目			
年度	2年目			
年度	3年目			
年度	4年目			
年度	5年目			
年度	6年目			
年度	7年目			



最短修業年限超過者等に係る事由書

指導教員の方へ

- 申請者記入の〔様式10-1〕最短修業年限超過者等に係る事由書を確認の上、以下の1～3をご記入ください。ご記入後、封筒（任意の形式）に入れて糊付けの上、申請者本人に渡してください。

本人記入欄

学部・研究科名	課 程	学科・専攻名	学年	入(進)学年	学生番号	
学 部 研究科 学 舎 教育部	学部 修士 博士 専門職			西暦 年 月	氏名	
					研究室 内線番号	

教員記入欄

1. 上記申請者の最短修業年限超過事由等に対する指導教員等の所見
(原則、日本語でご記入ください。)

2. 今年度卒業・修了の見込み

有り ・ 無し

- (以下の3. 記入日・教員署名等もご記入ください。また、所見欄では不足する場合は、以下の余白にもご記入ください。)

3. 記入日・教員署名等

西暦 年 月 日

(指導教員) 職名・氏名 _____ (印)